

第13集 自分のことを考えよう

ことばのテーブル100枚プリント第13集「自分のことを考えよう」をお買い上げいただき、ありがとうございます。この教材は、自己洞察能力の向上と、心理状況の表現方法の学習を、目的としたものです。経験・能力・知識などの領域ごとに、自分自身に関する“判断”を表明するワークです。

したことあるかな・・・

【構成】※「問題リスト1・2」参照のこと。

- ◎問題は、0.選択課題(10問) 1.経験領域(20問)、2.所有領域(10問)、3.存在領域(10問)、4.能力領域(20問) 5.知識領域(20問)、6.嗜好領域(10問)で構成されています。
- 予備的な、0.選択課題を実施した後に、各領域の判断課題に進む構成になっています。領域間では、解答形式からも、5.知識領域 がもっとも判断が難しいと思われるため、後半に配置しました。
- 6.嗜好 は、解答形式が他と異なるため、最後に配置しました。
- 漢字には、すべて、ルビがふられています。



【使い方】

(1) 0.選択課題

各問のテーマに沿って、5つの項目から該当するものを選びます。自分自身の経験や能力・知識などの有無を、内容選択という形で判断します。

(2) 1.経験領域～5.知識領域

設定された、5つの質問に対して、3つの選択肢から、解答を選択します。

- 1.経験 は、「ある/ない/わからない」から選択します。
- 2.所有/3.存在 は、「もっている/もっていない/わからない」「ある/ない/わからない」から選択します。
- 4.能力 は、「できる/できない/わからない」から選択します。
- 5.知識 は、「知っている/知っていると思うけど自信がない/知らない」から選択します。

(3) 6.嗜好 <好きなものベスト3>

設定された嗜好に対する質問に対して、自分の好むもの上位3つを挙げます。また、自分以外の人(例:家族や療育担当者など)の嗜好にも触れ、自他の嗜好の違いへの気づきを促します。

【対象】

- * 0.選択課題の解答が可能であれば、1～6の領域の問題に取り組める一定の基盤があると考えられます。
- * 5.知識領域の解答は、非常に難しく、とくに知識の確信の度合いを表明する「知っていると思うけど自信がない」の選択には、高い自己洞察の能力が求められます。
- * すべての問題に対して、妥当な判断や反応を示せるためには、社会的事柄への知識も含めて、小学校中～高学年程度の洞察能力が必要なのではないかと考えています。

【この教材の目的】

- ① 自分の心の状況に対する洞察の向上
 - * 間接的・無意識的な洞察から、自分を客観的に把握するメタ認知的な洞察の形成を促します。
- ② 心の状態の表現方法の学習
 - * 「知っている」「わからない」「自信がない」など、心理状況を表現することばに対する感受性を高めます。

☆ことばのてーぶる100枚プリントについて

ことばのテーブルでの指導の中で、企画・制作された教材集です。ことばのテーブルでは、この教材集を指導室での学習や家庭で行うホームワーク教材として使用しています。

※教材集の無断複製・販売は、ご遠慮ください。

葛西ことばのテーブルは、発達障害や言語障害の方のための学習室です。

《企画・製作 言語・学習指導室 葛西ことばのテーブル》

●企画・制作責任 三好純太 制作スタッフ:島本佐保

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西5-1-3 第6山秀ビル301

TEL/FAX (03)3687-3158 E-mail:QYT07571@nifty.ne.jp

□この教材集に対するご意見・ご感想・ご要望をお聞かせください。